

## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 丸尾カルシウム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4102 URL <https://www.maruo-cal.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸尾治男  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 谷井通宏 TEL 078-942-2112  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	5,574	—	103	—	179	182.3	118	511.9
2021年3月期第2四半期	5,101	△15.6	△31	—	63	△70.8	19	△88.2

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 △339百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 1,520百万円 (258.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	53.12	51.43
2021年3月期第2四半期	8.53	8.26

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、当該会計基準等の適用による影響を受けた売上高については、2022年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	15,754	9,425	57.0
2021年3月期	16,596	9,808	56.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 8,975百万円 2021年3月期 9,378百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	2.8	110	△27.6	210	△31.6	130	△27.7	57.88

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無  
 2. 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率については、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率を記載しております。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	2,355,200株	2021年3月期	2,355,200株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	121,339株	2021年3月期	139,139株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	2,223,890株	2021年3月期2Q	2,263,414株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済については、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により大きく落ち込んでいましたが、国や地域によりばらつきはあるものの、ワクチンの普及と経済活動制限の緩和などにより回復傾向にあります。しかしながら、今後も新型コロナウイルスの感染状況次第の感は払拭できず、依然として不確実性が高い状況にあります。日本経済については、海外需要の回復に牽引され持ち直しの動きがみられるものの、再び感染が拡大する恐れがあり依然として不透明な状態が続いております。

このような経済情勢下、当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染防止策を徹底し、品質の向上を目指し生産工程の見直しや設備のIT化に努めてまいりました。売上高につきましては、建築資材向けなどが堅調に推移したことなどにより、55億74百万円（前年同期比4億72百万円の増加）となりました。損益面につきましては、売上高の増加に加え、工場稼働率が増加したことや減価償却費が減少したことなどにより、営業利益1億3百万円（前年同期比1億34百万円の増加）、経常利益1億79百万円（前年同期比1億15百万円の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億18百万円（前年同期比98百万円の増加）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は36百万円減少しております。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に影響はありません。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億41百万円減少し157億54百万円となりました。これは主に建設仮勘定が62百万円、商品及び製品が55百万円増加し、投資有価証券が7億60百万円、機械装置及び運搬具が1億6百万円、受取手形及び売掛金が65百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億58百万円減少し63億28百万円となりました。これは主に未払金が96百万円増加し、短期借入金が1億25百万円、長期借入金が1億24百万円、支払手形及び買掛金が81百万円、繰延税金負債が減ったことにより固定負債その他が2億39百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては前連結会計年度末に比べ3億82百万円減少し94億25百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ1億17百万円減少して29億17百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果増加した資金は3億8百万円（前年同期は6億58百万円の増加）で、これは主に税金等調整前四半期純利益1億74百万円、減価償却費2億84百万円、売上債権の減少77百万円等による資金の増加に対し、棚卸資産の増加90百万円、仕入債務の減少87百万円等による資金の減少によるものです。

投資活動の結果減少した資金は1億30百万円（前年同期は2億19百万円の減少）で、これは主に投資有価証券の償還による収入1億円の増加に対し、有形固定資産の取得による支出91百万円、定期預金の預入による支出83百万円、投資有価証券の取得による支出51百万円の減少によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は3億16百万円（前年同期は9百万円の減少）で、これは主に短期借入金の純減1億26百万円、長期借入金の返済による支出1億24百万円、配当金の支払63百万円等の支出によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年5月12日公表の「2021年3月期 決算短信」に記載のとおりであり、当該業績予想の修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,461,053	3,454,462
受取手形及び売掛金	4,123,571	4,058,099
商品及び製品	517,353	572,786
仕掛品	102,200	96,572
原材料及び貯蔵品	386,447	429,911
その他	89,123	53,645
貸倒引当金	△2,065	△2,040
流動資産合計	8,677,685	8,663,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,245,227	1,223,386
機械装置及び運搬具(純額)	1,235,306	1,129,297
土地及び鉱山用土地	622,937	623,327
建設仮勘定	17,698	79,891
その他(純額)	52,915	53,881
有形固定資産合計	3,174,084	3,109,784
無形固定資産	37,050	36,382
投資その他の資産		
投資有価証券	4,388,409	3,627,947
投資不動産(純額)	236,896	236,026
その他	85,347	84,664
貸倒引当金	△3,365	△3,365
投資その他の資産合計	4,707,288	3,945,273
固定資産合計	7,918,423	7,091,440
資産合計	16,596,108	15,754,877
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,904,752	1,823,295
短期借入金	425,371	299,908
未払金	426,024	522,683
未払法人税等	68,644	53,757
賞与引当金	172,700	175,400
役員賞与引当金	—	1,875
その他	112,428	129,166
流動負債合計	3,109,922	3,006,086
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	1,427,830	1,302,876
退職給付に係る負債	752,699	762,521
その他	996,841	757,437
固定負債合計	3,677,371	3,322,835
負債合計	6,787,294	6,328,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	876,552	876,552
資本剰余金	444,715	446,061
利益剰余金	5,645,987	5,697,643
自己株式	△184,143	△160,585
株主資本合計	6,783,112	6,859,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,593,209	2,060,614
為替換算調整勘定	2,308	55,487
その他の包括利益累計額合計	2,595,518	2,116,102
新株予約権	53,001	52,027
非支配株主持分	377,182	398,155
純資産合計	9,808,814	9,425,956
負債純資産合計	16,596,108	15,754,877

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	5,101,699	5,574,395
売上原価	4,260,735	4,493,060
売上総利益	840,964	1,081,335
販売費及び一般管理費	872,692	978,194
営業利益又は営業損失(△)	△31,728	103,141
営業外収益		
受取利息	3,728	3,745
受取配当金	35,205	38,594
受取保険金	9,521	122
不動産賃貸料	32,256	31,599
為替差益	—	793
その他	23,247	6,634
営業外収益合計	103,959	81,489
営業外費用		
支払利息	3,052	2,741
為替差損	3,380	—
その他	2,367	2,852
営業外費用合計	8,800	5,593
経常利益	63,429	179,036
特別利益		
固定資産売却益	107	—
特別利益合計	107	—
特別損失		
固定資産処分損	21,661	4,538
特別損失合計	21,661	4,538
税金等調整前四半期純利益	41,875	174,497
法人税、住民税及び事業税	12,272	48,378
法人税等調整額	688	875
法人税等合計	12,961	49,254
四半期純利益	28,914	125,243
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,607	7,106
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,307	118,137

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	28,914	125,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,514,887	△532,610
為替換算調整勘定	△23,688	67,910
その他の包括利益合計	1,491,199	△464,699
四半期包括利益	1,520,113	△339,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,515,843	△361,278
非支配株主に係る四半期包括利益	4,269	21,822

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	41,875	174,497
減価償却費	333,754	284,195
株式報酬費用	14,019	12,601
固定資産処分損益 (△は益)	21,661	4,538
有形固定資産売却損益 (△は益)	△107	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△235	△24
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,500	2,700
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	1,875
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	23,606	9,821
受取利息及び受取配当金	△38,934	△42,340
支払利息	3,052	2,741
売上債権の増減額 (△は増加)	432,824	77,633
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△61,660	△90,580
仕入債務の増減額 (△は減少)	△183,611	△87,340
未払金の増減額 (△は減少)	154	5,418
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,325	△37,171
その他	15,324	14,396
小計	588,550	332,964
利息及び配当金の受取額	38,934	42,340
利息の支払額	△3,061	△2,777
法人税等の支払額	△17,427	△64,479
法人税等の還付額	51,183	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	658,179	308,046
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△146,008	△83,151
定期預金の払戻による収入	92,211	—
有形固定資産の取得による支出	△158,287	△91,531
有形固定資産の売却による収入	107	—
投資有価証券の取得による支出	△1,403	△51,134
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
その他	△5,929	△4,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△219,309	△130,715
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	183,340	△126,666
長期借入金の返済による支出	△124,954	△124,954
配当金の支払額	△66,308	△63,933
非支配株主への配当金の支払額	△850	△850
その他	△337	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,110	△316,480
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,688	21,791
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	419,071	△117,357
現金及び現金同等物の期首残高	2,694,818	3,035,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,113,890	2,917,871

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高及び売上原価はそれぞれ36百万円減少しております。なお、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

当社グループは、炭酸カルシウムの製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

## 3. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

## ①生産実績

当第2四半期連結累計期間におけるグループ生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	金額（百万円）	前年同期比（%）
化合炭酸カルシウム	2,455	118.7
重質炭酸カルシウム	446	106.3
その他	1	51.2
合計	2,903	116.5

(注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注状況

製品について見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

## ③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をグループ内での製造品、グループ外からの購入品の別及び品目別に示すと、次のとおりであります。

品目		金額（百万円）	前年同期比（%）
グループ内製造品	化合炭酸カルシウム	2,394	113.3
	重質炭酸カルシウム	449	106.7
	その他	1	51.2
	小計	2,844	112.2
グループ外購入品	化合炭酸カルシウム	100	134.3
	重質炭酸カルシウム	1,147	106.1
	その他	1,481	105.2
	小計	2,729	106.4
合計		5,574	109.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間における販売実績を用途別に示すと、次のとおりであります。

用途	金額（百万円）	前年同期比（%）
合成樹脂	2,425	112.0
塗料	1,159	92.5
輸出	748	119.7
食品・飼料	388	101.6
ゴム	349	121.6
その他	503	129.7
合計	5,574	109.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。